

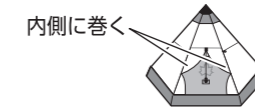


- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故の原因)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがの原因)

- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故の原因)
- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがの原因)

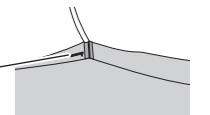
上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。



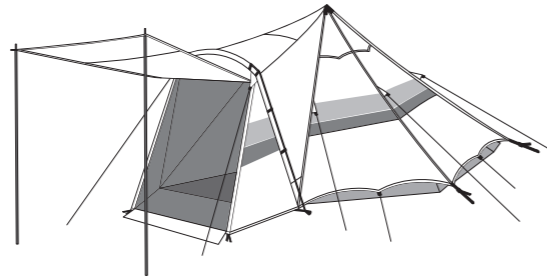
■ テント下部のご使用方法

電源などを通すファスナー



● 設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



● 部品構成表

()は素材

フライシート×1 (ポリエステル)	インナーテント×1 (ポリエステル)	メインフレーム【金】×1 (7075超々ジュラルミン) (5節)	テントフレーム【銀】×1 (6061アルミ) (10節)コの字型
ペグ×23 (スチール)	ロープ×8 (PP)	ハンマー×1 (スチール)	
	※一部装着済	※サービス品	

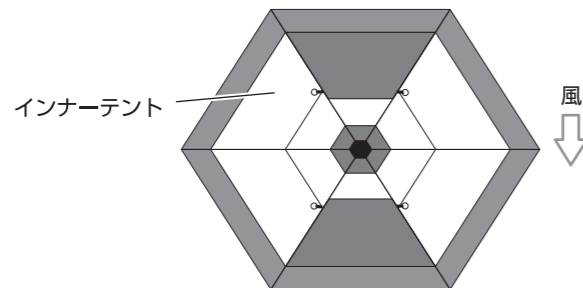
● 設営方法

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。
- フライシートのみ設営して、日除けとして使用できます。

1 インナーテントを広げて、ペグで固定する(6か所)

● Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- ロゴマークがある方が前(入り口)です。
- 対角線を順番にペグダウンすると、きれいに張れます。



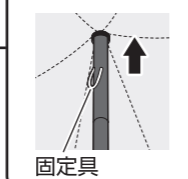
2 フライシートをかぶせて、メインフレームでインナーテントを持ち上げる

● Point

- フライシートとインナーテントの入り口を合わせてください。
- メインフレームは固定具が上になるようにしてください。

① フライシートをかぶせる前にペグダウン用のロープをほどいておく

② 押し上げる



③ 差し込む

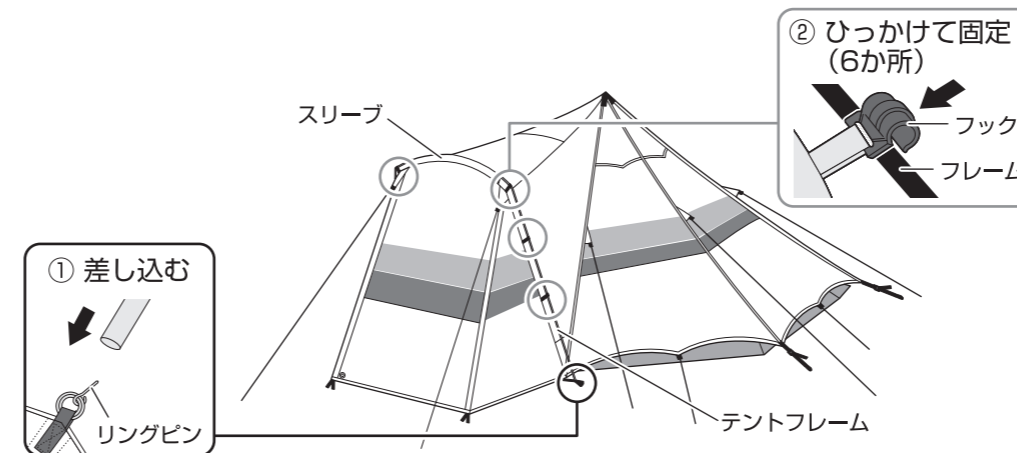


メインフレーム

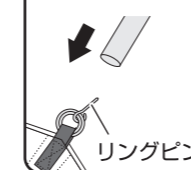
フライシート

インナーテント

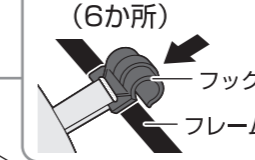
3 テントフレームをスリーブに押し込む



① 差し込む



② ひっかけて固定(6か所)



4 ペグで地面に固定する

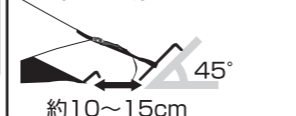
ペグは17か所打ち込む。

● Point

- スタンディングテープがピンと張った状態でペグダウンしてください。

- たるみがないようにする。(テントが風で飛ばされ、けがの原因)

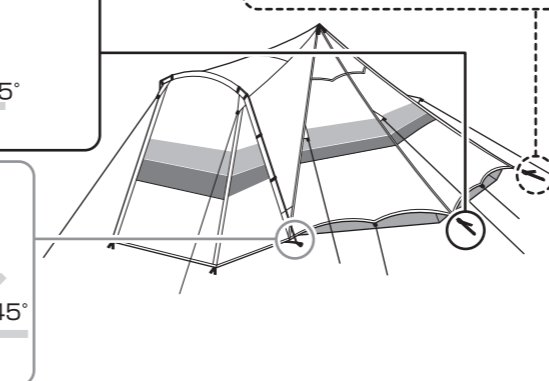
① フライシートのペグ(5か所)



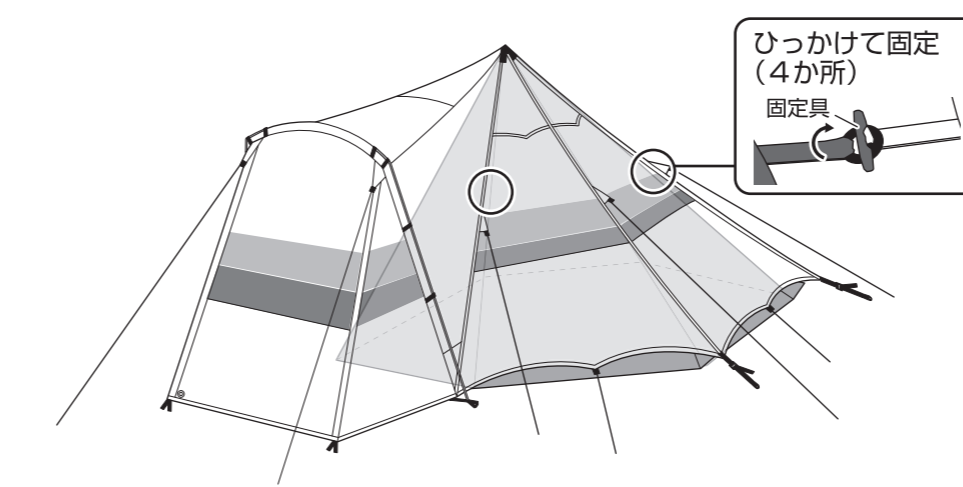
② 入り口のペグ(4か所)



③ ロープのペグ(8か所)



5 インナーテントとフライシートを固定する

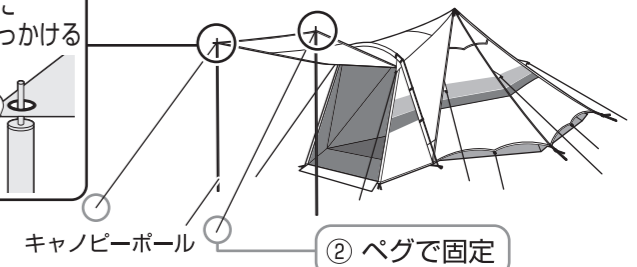
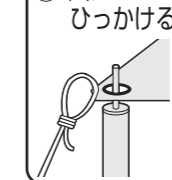


ひっかけて固定(4か所)



■ 入り口の固定のしかた【キャンピーポール(別売品)を使用する場合】

① 穴にひっかける

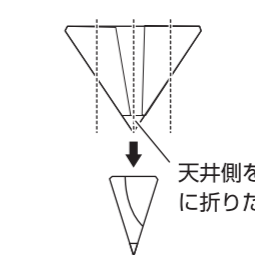


② ペグで固定

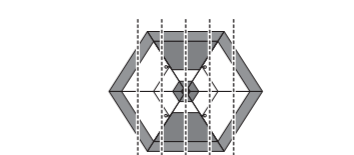
● 収納のPoint

- インナーテントは折る直前にペグを抜くと作業がしやすいです。
- ファスナーは少し開けておきます。
- ロープはすべて結んでおきます(からまりやすいため)。
- 収納バッグの幅にあわせて折ります。

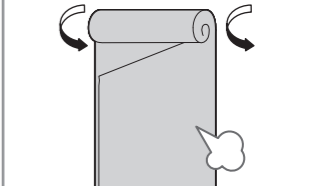
① フライシートを折る。



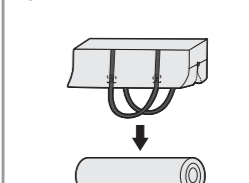
② ペグを抜いて、インナーテントを折る。



③ ①と②を重ねて、フレームを置きフライシートの天井側から空気を抜きながら巻き込む。



④ バッグをかぶせる。



廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。

Designed by
LOGOS CORPORATION
発売元:
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ ホームページ / www.logos.ne.jp
■ 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com